

Visual Mining Studio バージョン 7.5 の変更点

2013 年 10 月 31 日

株式会社 NTT データ数理システム

※注意

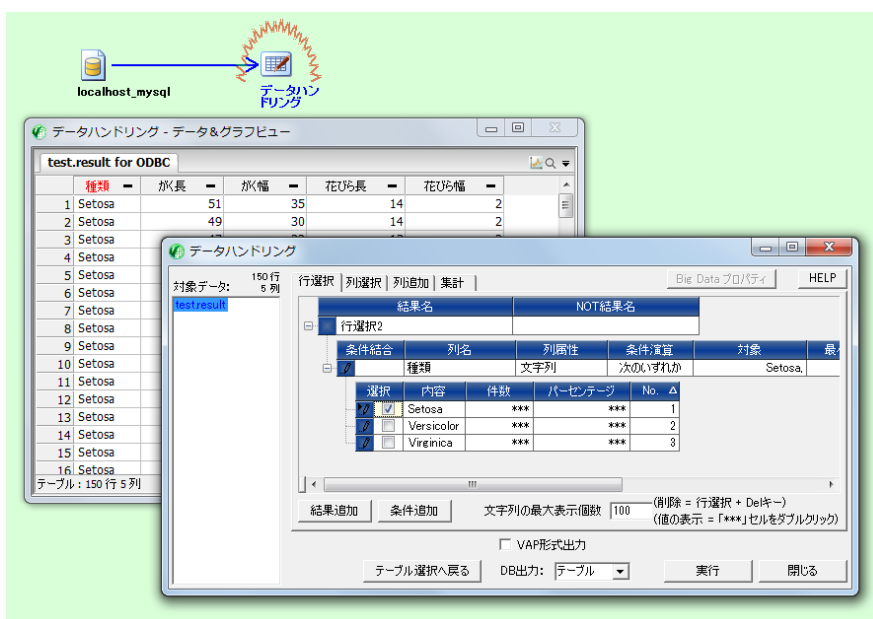
今回リリースされる Visual Mining Studio 7.5/Visual Analytics Platform 1.1.2 及びそれ以前のバージョンは Windows 8.1 をサポートしていません。Windows 8.1 では一部の機能が動作しないことが確認されています。申し訳ありませんが、Visual Mining Studio/ Visual Analytics Platform をご使用のマシンの OS の Windows 8.1 へのバージョンアップはお控えください。ご不便をおかけいたしますが、ご了承くださいませようお願いいたします。

Visual Mining Studio/ Visual Analytics Platform の Windows 8.1 への対応時期に関しましては別途ご連絡させていただきます。

主な変更点

1. データハンドリングのデータベース対応

データハンドリングアイコンでデータベース上のデータの操作を行うことが可能になりました。直感的な操作で、データをインポートすることなく高速に処理を行うことができます。

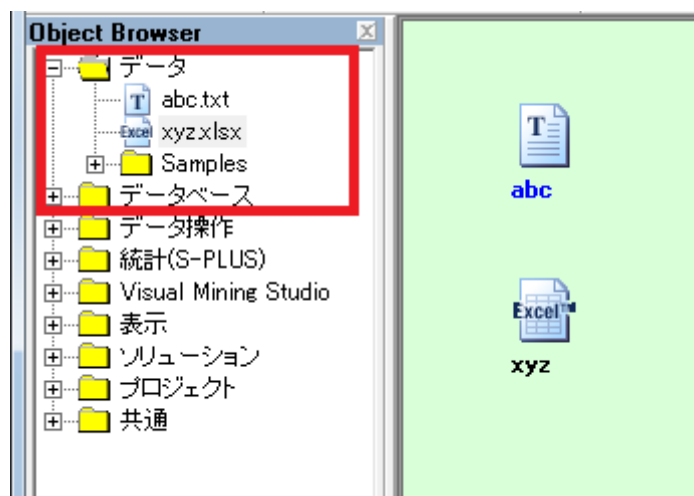


2. 文字列処理の高速化

文字列に対する内部の処理を変更し、従来よりも高速に文字列のインポート、加工などができるようになりました。特に URL をはじめとする長い文字列が多数含まれるデータのインポートが高速になりました。

3. オブジェクトブラウザにテキストファイル、Excel ファイルが保存可能

オブジェクトブラウザのデータフォルダに、テキストファイル、Excel ファイルなども保存可能になりました。



4. データインポート時の文字コード変換の高速化・対応文字コードの拡張

データインポート時の shift_jis 以外のエンコード変換が必要な文字列に対する処理を変更し、従来よりも高速に処理ができるようになりました。また、対応可能な文字コードを増やしました。

5. R 関係が R 3.0.0 以降のバージョンに対応

R 関係が最新バージョンの R に対応しました。R 2.15.2 以降のバージョンに対応します。

6. スクリプトの関数呼出し、並列実行の高速化

sys_proc、sys_proc_parallel でスクリプトアイコンを呼び出した場合に処理を高速化しました

新機能一覧

追加されたスクリプト関数

CONST_PI
CONST_INT_MIN
CONST_INT_MAX
CONST_REAL_MIN
CONST_REAL_MAX
定数値を導入

改善された機能

オブジェクトブラウザ
テキストファイル、Excel ファイルの保存に対応
データハンドリング
データベース対応、Big Data Module 対応
データインポート
エンコード変換の高速化、対応文字エンコードの拡張

改善されたスクリプト関数

sys_proc、sys_proc_parallel
スクリプトアイコンを呼び出す場合の処理を高速化
chain_table
結合する 2 つのテーブルに同じ名前の列名がある場合にも実行できるように変更
run_script
R を呼び出しの際に statconnDCOM を使用しないように変更
実数値型の受け渡しの精度向上
R の整数値型を整数として受け取る